

事業名 [事業改善シート番号] 【しあわせ信州創造プランのプロジェクト名】 <信州創生戦略の基本方針名(一部略記)>	事業内容及び金額(千円) (*は成果目標)			
1 DMO構築事業費 [080101] 【農山村産業クラスター形成】 <活力と循環の信州経済の創出>	国内外からの観光客の流れを戦略的に創出し、観光による信州創生を進めるため、地域DMOの構築に向けた取組を支援するとともに、県DMOの構築を促進します。 1 地域DMOの構築支援 ・市町村観光協会幹部職員等を対象にリーダー養成講座を実施 2 県DMOの構築促進 ・専門人材の採用、マーケティング調査等の経費負担 *DMOリーダー養成者数:10人(H29) (一部 地方創生推進交付金活用事業)			
山岳高原観光課	H29当初	51,279	H28当初 (H27前倒し含み)	7,235 (94,645)
2 山岳遭難防止対策費 [080102] 【農山村産業クラスター形成】 <活力と循環の信州経済の創出>	県内の山岳遭難件数・遭難者数の増加に歯止めをかけ、安全・安心な登山を楽しむ環境づくりを進めるため、山岳遭難防止に係る啓発活動や情報発信を強化します。 1 登山者への啓発活動 ・安全登山の啓発 2 防止対策活動の充実、施設の整備 ・夏山常駐・秋山特別パトロール隊の設置 ・潤沢山岳総合相談所の修繕 3 火山の山小屋強化に対する補助 ・事業主体 常時観測火山を有する市町村 ・補助率 1/2以内 *遭難件数:273件(H27)→260件(H29) (一部ふるさと信州寄付金基金活用事業)			
山岳高原観光課	H29当初	66,531	H28当初	43,905
3 信州ブランド普及・発信事業費 [080201] 【信州ブランド確立】 <活力と循環の信州経済の創出>	信州ブランド戦略に基づく「しあわせ信州」をより一層普及浸透させるため、関係者間の意識共有を図るとともに、県内外に向けた発信活動を展開します。 ・関係者間の意識共有を図るためのワークショップの実施等 ・Webを活用したプロモーションの実施 *信州ブランド戦略の県民認知度:72.7%(H27)→80%(H29)			
山岳高原観光課信州ブランド推進室	H29当初	16,156	H28当初	42,633
4 信州首都圏総合活動拠点運営事業費 [080201] 【信州ブランド確立】 <活力と循環の信州経済の創出>	信州の美しさと健康な暮らしを多くの人とシェア(共有)するため、銀座NAGANOから信州のヒト・コト・モノをトータルに発信します。 (新)・信州の様々な情報を伝える「しあわせ信州コンシェルジュ(仮称)」の設置 ・県内への誘客・誘引を図る体験型イベントの実施 *銀座NAGANO来館者数:74万人(H27)→78万人(H29)			
山岳高原観光課信州ブランド推進室	H29当初	172,161	H28当初	171,562

事業名 <small>[事業改善シート番号]</small> <small>【しあわせ信州創造プランのプロジェクト名】</small> <small><信州創生戦略の基本方針名(一部略記)></small>	事業内容及び金額(千円) <small>(*は成果目標)</small>			
5 信州デスティネーションキャンペーン事業 <small>[080302]</small> <small><活力と循環の信州経済の創出></small>	本県独自の価値「山岳高原」の強みを活かし、「大自然に癒される」を中心に、「アウトドア」、「歴史・文化」、「食」をテーマとして信州ならではの楽しみ方を提供しながら、「滞在・周遊型」観光の推進を図るため、「信州デスティネーションキャンペーン」を中心に全県的な観光キャンペーンを展開します。 <ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進対策(オープニングイベント、PRキャラバン等) ・宣伝対策(パンフレット、ポスターの制作等) ・メディア広報(Web、新聞、雑誌、TV等でのPR等) ・受入体制整備(おもてなし推進、特別企画の実施等) 			
観光誘客課	*観光消費額:7,410億円(H27)→7,618億円(H31) *延宿泊者数:1,921万人(H27)→2,075万人(H31)			
	H29当初	110,000	H28当初	72,364
6 木曾観光復興対策事業費 <small>[080302]</small> 【農山村産業クラスター形成】 <small><活力と循環の信州経済の創出></small>	御岳山噴火災害による影響で観光客が減少している木曾地域において、被災前の観光地利用者数への回復を図るため、地元が主体となって行う観光プロモーションを支援します。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体:木曾観光復興対策協議会 <small>(木曾郡内町村、町村観光協会、木曾観光連盟、商工団体、県で構成)</small> 			
観光誘客課	*木曾地域観光利用者 平成27年220万人→平成31年末までに266万人 *木曾地域観光消費額 平成27年90億9,000万円→平成31年末までに105億9,000万円			
	H29当初	40,000	H28当初 <small>(H27前倒し含み)</small>	0 <small>(50,000)</small>
7 戦略的な外国人旅行者の誘致推進事業費 <small>[080401]</small> 【農山村産業クラスター形成】 <small><活力と循環の信州経済の創出></small>	平成31年までに外国人延べ宿泊者数200万人という目標を達成するため、中国をはじめとする東アジアや成長著しい東南アジア等の市場に加え、欧米市場や新興市場へとターゲットを拡大し、科学的・専門的なマーケティングに基づく戦略的なプロモーション活動を強化・実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・現地観光セミナー・商談会の開催、旅行博出展等による海外プロモーションの実施 ・海外メディアや旅行会社等の招請 ・サイクルツーリズム・トレッキング、ウィンタースポーツによる誘客 ・SNS等を活用した情報発信強化 			
観光誘客課国際観光推進室	*外国人延宿泊者数(観光庁「宿泊旅行統計調査」) 94.7万人(H27)→200万人(H31) <small>(一部 地方創生推進交付金活用事業)</small>			
	H29当初	94,254	H28当初 <small>(H27前倒し含み)</small>	51,472 <small>(114,272)</small>